

令和元年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

質問 1 防災ラジオの配布について	10月23日（水）南河内公民館
自治会長には防災ラジオが無償で配布されると聞いていますが、自治会長だけでなく副会長や班長へも配布していただきたい。	
回答	
防災ラジオの配布は、80歳以上の方のみの世帯、自治会長、民生委員、消防団の幹部などに無償貸与します。その他の方への配布については、今後検討してまいります。	

質問 2 台風接近時の連絡体制について	10月23日（水）南河内公民館
台風が接近し、避難所を開設したときの周知はどのように行われていますか。	
回答	
避難所開設のお知らせは、携帯電話でのエリアメールや市ホームページ、Twitter、とちぎテレビのデータ放送などで行っています。今後は、現在整備を進めているコミュニティFMも活用していきたいと考えています	

質問 3 ふれあい館の鍵の管理について	10月23日（水）南河内公民館
ふれあい館に避難所が開設されましたが、そのとき鍵が合わなかったと聞きました。問題はなかったのですか。	
回答	
ふれあい館には施錠箇所が2か所あり、別の鍵で開けようとしたことから鍵が合いませんでした。今後はこのようなことがないよう指導いたします。	

質問 4 田川について	10月23日（水）南河内公民館
台風19号の際、田川の水位が高いところがありました。県と連携して対応していただきたい。	
回答	
異常気象により、何十年に一度といわれる規模の台風や大雨が増えており、河川の水位にも影響しています。河川整備につきましては、今後も近隣自治体や国、県と連携し取り組んでまいります。	

質問 5 高齢者の外出手段について	10月23日（水）南河内公民館
近年、高齢者の交通事故が多く、免許返納が求められていますが、そうすると高齢者は外出しなくてもできなくなってしまいます。移動手段としてデマンドバスがありますが、市内を移動するのに市役所で乗り継ぐ必要があり、非常に利用しにくいです。高齢者が安心して外出できるよう改善をお願いします。	
回答	
現在、デマンドバスは、市内を南河内、国分寺、石橋の3エリアに分けて、各エリアにワゴン車1台が走っており、別のエリアへ移動するには市役所で一度乗り換えが必要となっています。今後は、1市2町での広域路線バス「ゆうがおバス」の運行が始まりましたので、「ゆうがおバス」とも連携し、デマンドバスのより効率的な運行を検討してまいります。	

質問 6 地域包括ケアシステム構築と人材育成について	10月23日（水）南河内公民館
高齢者の生活支援をしている中で、超高齢社会の課題を解決するには、関係部署の連携が必要だと感じっていますが、現状、高齢者のことは高齢福祉課、外出支援は安全安心課といった縦割り行政になっています。庁内全体を取りまとめる体制づくりの考えはありますか。	
回答	
地域共生社会の実現にむけ、地域福祉計画を策定し、市役所全体で取り組んでいます。自治会や民生委員の皆さまの情報力が重要だと感じています。行政や社会福祉協議会だけでなく、地域で活動されている市民の皆さまのご意見やお力をいただきながら進めていきたいと考えております。	

質問 7 しもつけブランドの PR について	10月23日(水) 南河内公民館
春は「天平の桜」、夏は「夕顔の花とふくべ」、秋は「大鍋と芋煮会」、冬は「イルミネーション」など、たくさんある市のブランドを、市の公用車にフィルムを貼るなどして宣伝してはどうでしょうか。	
回答	
しもつけブランドの PR について、市民でも知らない方もおられると思いますので、PR の方法について検討してまいります。	

質問 8 自主防災組織の整備について	10月23日(水) 南河内公民館
今回、台風の被害があった場所には自主防災組織がありませんでした。自主防災組織の活動を、自治会と連携して強化していただきたい。	
回答	
市では、災害に備え、地域で活動する自主防災組織の活動を支援しております。今回の台風のような災害時には、地域の協力体制が重要ですので、これからも、自主防災組織の推進に力を入れ、消防署や消防団、自治会との連携を強化してまいります。	

質問 9 水道整備事業について	10月23日(水) 南河内公民館
昨年度、地下水 100%の水道水の維持を求める市民 8,000 人以上の署名を市長に提出しました。また、昨年、表流水の導入についての説明責任は県にあるとの回答を得たため、県の担当者と協議したところ、県では、渇水のリスクは地下水も表流水も高く、市町の水道整備は各市町の判断によると説明されました。また、7月に市議会主催による水道事業をテーマに講演会があり、講師が、地下水が確保されているなら新たな水源の確保に関して表流水のリスクは高いと発言されました。それでも、市民が望まない水道料金の値上げにつながる表流水の導入を見直す考えがないのか、市の考え方を今一度お答えください。	
回答	
「地下水に全面的に依存している現状から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保する」という県の危機管理の考え方に賛同し、この事業に参加しております。今後も、市民の皆さまにご理解をいただけるよう丁寧に説明してまいります。	

質問 10 プラごみゼロ宣言について	10月23日(水) 南河内公民館
プラごみゼロ宣言について、海なし県から取り組むことに意義があるという市長の発言を大いに評価します。プラごみを削減するために独自の条例を策定するなど、具体的に取り組んでいる自治体がありますが、今後の取組について聞かせてください。	
回答	
プラごみゼロに向けて、海なし県の栃木県で取り組むことに大きな意義があるという県市長会の宣言に、本市も賛同いたしました。プラごみの削減には市民の皆さまの協力が必要ですので、どうすれば削減できるか皆で考え、取り組んでまいりたいと考えております。 また、近年、本市の人口 1 人当たりのごみの排出量が増加しています。時間がかかるかもしれませんが、子どもたちにごみ問題について教育するなど、長い目で見てごみの減量化につながる取組を行いたいと考えております。	

質問 11 水道整備事業について	10月23日(水) 南河内公民館
本市の水道水は非常に質が高いと感じています。県の言うことに賛同するだけでなく、市独自に考え、市民と腹を割って議論していただきたい。	
回答	
今後、県や周辺の自治体と協議を進めていく中で、市民の皆さまと相談していきたいと考えております。	

質問 12 調整池の溢水対策について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
調整池の水を排水し、汚泥と蓮を除去していただきたい。池の周りの道路の側溝も汚泥や枯れ葉が詰まっているので、あわせて対応をお願いします。また、今回、池の西側にはあらかじめ土のうが設置されましたが、東側にはありませんでした。東側も西側と同様に対応してください。	
回答	
調整池は、沈砂池という、泥をためて池を作る仕組みになっており、調査では泥の堆積は想定内でした。しかし、台風や大雨で水量が増加することが想定されるときには、事前に水を抜くなど対応してまいります。蓮については、花が咲いている時期に楽しんでおられる方も多いため、検討が必要と考えますが、他の水生植物については、毎年除去しております。側溝については、早急に対応いたします。土のうは、調整池の西側から溢水する恐れがあるということで設置しましたが、東側も確認し、対応してまいります。	

質問 13 車いすでの移動について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
車いすを利用しています。来年、定期的に宇都宮市まで出かけることになる予定ですが、移動手段に不安があります。	
回答	
市内の JR3 駅は、すべてエレベーターを完備しております。駅員の補助もつきますから、車いすでも問題なく電車に乗ることができると思います。	

質問 14 避難命令とハザードマップについて	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
台風の時、とちぎテレビを見たら小金井地区に緊急避難命令が出ていましたが、範囲が広くてわかりにくかったです。また、市内の土地の高さがわからないと、どこがどのぐらい水没するのか判断できないので、ハザードマップに市内の土地の高さがわかる資料も載せてください。	
回答	
テレビやネットで、市が判断するより先に警戒レベル4という情報が出てしまい、申し訳ありませんでした。避難命令ふくめ、情報のきめ細かさでは、やはりコミュニティ FM が強いと考えます。12月20日に開局する「FM ゆうがお」は、防災ラジオがなくても、普通のラジオや、スマートフォンのアプリやPCでも聴くことができますので、ぜひご利用ください。 市内の土地の高さと浸水想定区域の資料は既にありますので、市ホームページからご覧いただけるよう対応いたします。	

質問 15 避難所について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
自治会の役員をしています。今回の台風で、上古山の集落センターで待機していた消防団から、姿川が危ないので石橋北小の体育館を開放してほしいと連絡がありましたが、上古山地区の避難場所はスポーツ交流センターになっており、急遽、上原のコミュニティセンターを開けました。地震のときの避難所は石橋北小となっているので、見直しをお願いします。	
回答	
今回、予定降水量を基準に、早いうちからスポーツ交流館と友愛館と旧国分寺西小に避難所を開設しました。消防団から石橋北小に避難所を開設してほしいという要望があったのが夜10時近く、夜間の移動は危険ではないかと考え、開設はしませんでした。もっと早く姿川の危険を想定し、明るいうちに開設準備に入らなかったのが、今回の反省点です。今後、上古山などの姿川の上流域については、しっかりと消防団と連携をしながら避難所開設・運営を行ってまいります。	

質問 16 水道整備事業について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
南摩ダムの建設費用や水道施設の費用など、下野市の負担金はおよそ100億円になろうと予想されます。下野市の水道には、すでに企業債が23億円あり、10年かけて4億円を減らす計画となっている中、さらに100億円の負担に対応するために、水道料金をいくら値上げするおつもりですか。	
また、表流水は農業地帯を流れてきますが、グリフォサートなど発がん性があるとされる農薬が含まれた水を飲んで、本当に大丈夫なのでしょうか。	

回答	
<p>今後、県と協議に入っていくこととなりますので、現段階においては水道料金などに関して具体的にお答えすることはできません。きちんと県と協議し、その過程も皆さんにお知らせしてまいります。農業地帯を流れる川の水をどのように浄水したらいいのかなどについても、県と協議し、検討してまいります。</p>	

質問 17 就学時健診を利用した親学プログラムの実施について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>近隣の市町では就学時健診を利用して、親学プログラムを実施しているのですが、下野市では健診の際、保護者同伴が必要なので無理という回答をいただいています。これは今後も変わらないのでしょうか。(親学プログラムとは、保護者同士が話し合いと交流を通して子育てについて学ぶ学習プログラムのこと。)</p> <p>また、個々で子育て支援をしている団体を、それぞれの得意分野を生かした支援チームにしていく対策を、市にお願いしたいと考えています。</p>	

回答	
<p>各小学校で来年入学する子どもたちが受ける就学時健診は、保護者同伴で実施しています。個人情報に配慮するためと、何か異常が見つかった際、保護者の方でその事実を把握しているのか、治療はしているのかといった確認をその場で行うためです。また、現在は食物アレルギーがあるお子さんが多いので、学校栄養士との面談も必要になります。発達障がいや特別な支援を必要とするお子さんも増えており、安心して健康診断を受けていただくには、やはり保護者の同伴が必要であり、親学プログラムが実施できるほどのまとまった時間をとることは難しいのが現状です。家庭教育の重要性は充分理解しておりますので、親学プログラムの周知や支援は、引き続き行ってまいります。</p>	

質問 18 地下水と雨水について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>以前、勤務していた事業所が独自に井戸を所有しており、水の無駄遣いをしているのを目撃しました。市では、独自に井戸を持っている事業所がくみ上げている水の量を把握していますか。</p> <p>また、地下水の保全のために雨水を利用していくことが重要と考えますが、市の公共施設で雨水の貯留槽を用いた施設はありますか。市で、家庭での雨水タンク設置の費用補助もしていただきたい。</p>	
回答	
<p>独自に井戸を使っている事業所については、後ほど回答させていただきます。また、市役所の庁舎で、雨水をトイレの水として利用しております。</p>	

質問 19 水道整備事業について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>市の水道事業は現状のままで問題なく、100億円以上かけて新たな設備を作る必要はありません。100億円もあるなら、水害対策、社会福祉や教育など、やるべきことは他にあります。</p>	
回答	
<p>貴重なご意見として受けさせていただきます。</p>	

質問 20 バス路線の拡充と古い道路の整備について	10月26日(土) コミュニティセンター友愛館
<p>ターミナル駅である小金井駅を起点としたバスの路線を拡充し、東の飛鳥のプロジェクトと抱き合わせて発展させていただきたい。天平の丘公園も、もっと花を増やして人が集まる場所にさせていただきたい。</p> <p>また、古い道路を改良して、高齢者も歩ける歩道にさせていただきたい。</p>	
回答	
<p>小金井駅を起点に、尼寺や天平の丘公園を活用して周遊できるよう、さらなる事業展開を検討してまいります。道路については、情報をお寄せいただき、段差を解消するなどの修繕を進めてまいります。</p>	